

令和6年度 町県民税家屋敷課税申告書

猪苗代町長

下記のとおり申告します。

お問い合わせ番号:

納 税 義 務 者	住 所	〒 ー											
	(フリガナ) 氏 名							性 別 男・女	生年月日	大・昭・平 年 月 日			
	個 人 番 号										電話番号	ー ー	
	納税通知書送付先 住 所 及 び 氏 名	※上記住所と同じ場合は、記入不要です。 住所: 〒 ー 氏名:											

【課税の取り消し理由】 ※以下に該当しない場合や前年から変更がない場合は提出不要です。

家屋の所在地:											
令和6年1月1日時点での家屋敷の状況（該当する番号を○で囲んでください。）											
1. 家屋敷課税に該当するが	{ (1)住民票のある住所地での住民税が非課税である。 (2)1月1日時点で生活保護法の規定による生活扶助を受けている。 (要:(1)の場合は非課税証明書のコピー、(2)の場合は保護決定通知書のコピーを添付)										
2. 家族が住居しており	{ (1)自己が支配権を持つ。(単身赴任の家族が居住等) (2)自己以外の家族(兄弟、両親等)が支配権を持つ。 <table><tr><td>氏 名</td><td></td><td>関 係</td><td></td></tr></table>			氏 名		関 係					
氏 名		関 係									
※支配権とは、合鍵を所有しているなどで自由に出入りできる状態にあることを指します。											
3. 以下の者に貸し付けている。(要:賃借契約書のコピーなどを添付)	<table><tr><td>住 所</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>氏 名</td><td></td><td>電話番号</td><td>ー ー</td></tr></table>			住 所				氏 名		電話番号	ー ー
住 所											
氏 名		電話番号	ー ー								
4. 家屋を滅失又は売却済（要:取壊証明書のコピー、売買契約書のコピーを添付）											
5. 屋根や壁が朽ち果てるなど、外気遮断性がなく人が生活できる状態にない。 ※老朽化やインフラ(電気・水道)の不通だけでは該当しません。											
6. その他	<div>(具体的に記載してください。)</div>										